

コンコルド効果を防ぐ方法

はじめに

投資と合理的判断の困難

コンコルド効果の定義と影響

コンコルド効果とは

定義

過去の投資を惜しんで非合理的な判断をする心理的傾向

由来

英仏共同開発の超音速旅客機「コンコルド」

ビジネスにおけるコンコルド効果の例

新製品開発

ある企業の新製品

初めは有望

市場ニーズに合わず開発を中止できず損失

新規事業

別の企業の新規事業

当初は有望

収益が上がらず赤字

多額の初期投資のため中止できず赤字が拡大

コンコルド効果を防ぐ方法

事前に投資限度額を設定する

新製品開発や新規事業に際して上限金額を設定

限度額を超えた場合の投資中止ルール

定期的に事業の継続可能性を検証する

市場ニーズの確認

収益の検証

競合他社の動向

技術的な課題

第三者の意見を参考にする

社外の専門家や経営コンサルタントの意見

事業に直接関与していない社内の意見

損切りルールを設ける

例えば、3期連続で赤字の場合の事業中止ルール

投資の意思決定プロセスを標準化する

投資是非の検討

投資限度額の設定

継続可能性の定期検証

第三者の意見参考

損切りルールによる判断

まとめ

コンコルド効果を防ぐための対策

投資限度額の設定

事業の継続可能性の定期検証

第三者の意見参考

損切りルールの設定

意思決定プロセスの標準化

合理的な投資判断を促進し、企業経営を守るための重要性